令和4年10月20日
第70号

さくほ 議会だより

2022 ⑩

佐久穂中学校文化祭
樺松祭
～LIMIT 限界を超えろ！～

さくほ議会 Facebookもチェック
さくほ議会

9月定例会
令和4年度補正予算　ほか……P2.3
令和3年度決算認定
子どもにもわかりやすいさくほのお金……P4.5

一般質問　7名
「財政危機の中、どう福祉と健康を守るのか」
「道の駅建設の目的は」　ほか……P6～11

議会活動報告
お邪魔します。おでかけ議会です。……P14.15

令和4年 9月定例会

町長招集挨拶 ピックアップ

町内外の動き

新型コロナウイルスは佐久穂町においても6月末の福祉施設の集団感染に始まり、保育園・小学校から家庭内感染へと広がり、8月末までに連日数名から最大22名に及ぶ感染者が発生しました。

酪農用輸入飼料や農業資材の価格高騰に対して、その経費の一部を補助し、農業者の営農継続を支援します。いまはまだ申請者は少数ですが、農業繁忙期以後に増えてくると思います。

「佐久穂町経済対策チケット2022」と名付けたプレミアム付き商品券を、11月5日から販売します。一人2万円まで購入できます。多くの町民の皆さまがご活用いただくことを期待します。

7月末の佐久穂町のマイナンバーカード交付率は33.8%と全国・長野県と比較して低い状況です。そのため町独自施策として、マイナンバーカード所有者へ7500円相当の経済対策チケット1冊を贈呈します。更に申請サポート窓口の常設、休日夜間申請窓口の設置、チラシの配布などの効果か、8月は119枚を交付しました。今後もさらなる普及促進の取り組みを進めていきます。

マイナンバーカード受付特設会場

町政の動き

ウクライナ応援コンサート

8月20日にウクライナ応援コンサートが開催され、ウクライナ出身の声楽家オクサーナ・ステパニュック氏の歌声を参加した201名の皆さまが楽しみました。募金総額は32万2350円で、全額がウクライナに送られます。

道の駅隣接地域を中心とする「かわまちづくり計画」について、国のかわまちづくり支援制度へ登録申請をしていましたが、8月9日付けで「八千穂地区かわまちづくり計画」として登録されました。これによりハード、ソフト両面から国の支援を受け、事業を進めることができます。

道の駅整備事業等に関する住民説明会を、8月31日より町内4会場において開催しました。延べ122名の参加者があり、様々な質問、意見、要望等が出され良いものを作ってほしいという期待と受け止めました。今後も情報提供に努め、住民の皆さまのご意見をお聞きしながら事業を進めていきます。

7月31日に株式会社モンベルの辰野会長の講演会が行われました。モンベル創業者である辰野会長の企業理念、日本屈指の登山家としての貴重な経験談など、会長の気さくさがうかがえる講演でした。

千曲病院の医療体制の充実のため、現在は設置されていないMRI画像検査装置の導入を検討しています。

高齢者人口の減少が始まっています。町の高齢者が多数利用する千曲病院と老健さやかの存続、再編強化を考える端緒として、この8月1日に千曲病院から老健さやかに看護師1名を出向させる人事を行いました。

さくほ議会だより 第70号

令和4年度 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ5億569万円を追加し、**歳入歳出の総額を92億4136万円**とする補正予算が可決されました。

●主な歳入の増額

新型コロナウイルスワクチン接種実施事業国庫負担金	1754万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保国庫補助金	1127万円
子育て支援基金繰入金	1537万円
固定資産税	1296万円
町債	7166万円
繰越金	3億5914万円

●主な歳出の増額

道の駅整備事業	794万円
情報化対策事業	732万円
新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	2881万円
小中学校給食無償化（令和5年3月まで延長のため）	1431万円
町単土地改良事業	5870万円

その他 注目の議決事項

佐久穂町消防団員の災害時出動報酬及び年額報酬などの条例改正

千曲病院のMRI画像検査装置導入に伴う電磁波シールド工事補正予算

令和4年8月臨時会（8月19日）

令和4年度 一般会計補正予算

●主な歳入の増額

地方創生臨時交付金（7月専決分）	2600万円
地方創生臨時交付金	1億2635万円
応援チケット売り払い収入	1億6880万円

●主な歳出の増額

酪農飼料・農業資材等の高騰に対する補助金（7月専決分）	2640万円
マイナンバーカード取得支援事業	193万円
佐久穂町経済対策応援チケット事業	3億3393万円

令和3年度
決算

しらかばちゃんが解説！

子どもにも　わかりやすい

さくほのお金

ふつうのさいふ

一般会計

入ってきたお金
105億6705万円

使ったお金
94億950万円

町の力で得たお金

- みなさんから税として集めたお金 — 町税 10億5072万円
- 保育園などを利用した人からのお金 — 1億3911万円
- 貯金をとりくずしたお金 — 6億6675万円
- 昨年の残ったお金 — 5億9120万円
- その他で得たお金 — 5億7322万円

国や県からもらったお金

- 国からもらう自由に使えるお金 — 地方交付税 43億4916万円
  - 地方交付税の割合：佐久穂町では41.1%で約43億円。ちなみに長野市は13.6%で236億円。軽井沢町は0%となっているわ。
- その他国からもらえるお金 — 4億6034万円
- 国や県からもらう使い道が決められたお金 — 国庫支出金 県支出金 22億3106万円

借金

- 国や銀行から借りたお金 — 5億549万円

- 人件費 13億2964万円 — 給料などに払うお金
- 扶助費 7億2413万円 — 困っているみなさんを助けるお金
- 公債費 10億7624万円 — 借金を返すお金
- 13億2709万円 — 地区や地域へ払うお金
- 11億6241万円 — 事務用品・電気・ガソリンなど日常に使うお金
- 9581万円 — 建物などを保つお金
- 5億9783万円 — 道路や建物を修理するお金
- 12億521万円 — 災害復旧につかうお金
- 5億3438万円 — いざというときのために貯めておくお金
- 繰出金他 13億5676万円 — 別のさいふにうつすお金
- くりこしたりためたりするお金 — 11億5755万円

令和3年度決算についてはこちら

令和3年度決算の詳細につきましては広報さくほ10月号又は佐久穂町ホームページ(https://www.town.sakuho.nagano.jp)をご覧ください。

QRコードを使うには？
App StoreかgoogleplayからQRコードリーダーをダウンロード♪
そのアプリでコードを撮って！

気になる佐久穂町の 借金と貯金

（一般会計）令和4年3月末時点

借金（町債）
41億4190万円

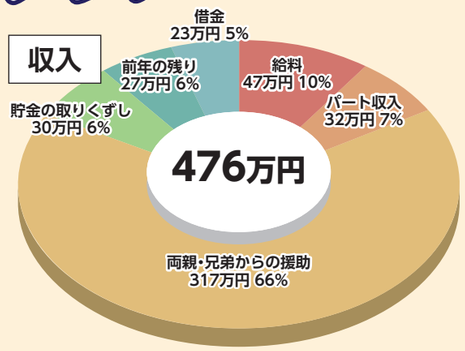
（町民1人あたり）
約39万3679円

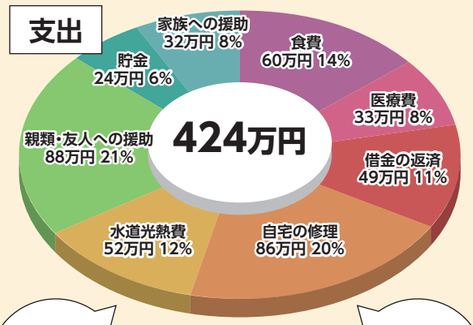
貯金（基金）
64億647万円

（町民1人あたり）
約60万8922円

町民1万521人で計算

令和2年度の収入が 500万円 の家庭の場合 令和3年度の収入支出をグラフで見てみると？





借金残高
187万円

（令和3年決算時）

貯金残高
289万円

専用のさいふ

特別会計

千曲病院専用のさいふ

収益的	入	16億346万円
	出	16億166万円
資本的	入	3億4910万円
	出	4億3791万円

老人保健施設専用のさいふ

入	4億2833万円
出	4億2398万円

他にも、
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 住宅改修資金等貸付事業特別会計
- 簡易水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 住宅地造成事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計

のさいふがあるのよ。

一般質問

定例会において、地方議員は自治体の施策の状況や方針などについて、通告をした上で質問をすることができます。

9月定例会（令和4年9月13・14日）

父親育児休業の推進を図るべきでは
町長「男女共同参画社会の実現を目指します。」
髙見澤 利博 議員

グループホーム増設を早急に
町長「誘致が実現できるよう前向きに努めていきます。」
髙見澤 春野 議員

今後の運動部活動の在り方は
教育長「スポーツに親しむ土壌づくりが必要であると考えています。」
髙見澤 敏幸 議員

道の駅計画における町の発展と活性化は
町長「新たなコミュニティーや、関係人口・佐久穂ファンの創出ができればと考えています。」
須田 芳明 議員

地域内でお金を循環させる仕組み作りとは
町長「今後、道の駅の役割が重要となります。」
佐々木 信幸 議員

財政危機の中、どう福祉と健康を守るのか
町長「本来、財政状況に関わらず守るべきと考えています。」
竹内 達朗 議員

道の駅建設の目的は
町長「道路利用者の利便性の他に、町に雇用が生まれ、にぎわいが創出されることです。」
出浦 修身 議員

父親育児休業の推進を図るべきでは

髙見澤 利博

町長 男女共同参画社会の実現を目指します。

育児目的休暇導入の姿勢に向けて

問 町としても制度利用の範を示し、多くの企業にも促して行くべきでは。

町長 地域全体で取り組んで効果が上がる類のものであり、その手法として男性版産休の取得率を地域全体で上げることは、波及効果が高いと見ています。

総務課長 養育する職員の継続的な勤務を促進し、職員の福利を増進するとともに、地方公共団体の行政の円滑な運営に役立っています。

産業振興課長 全国的にもまだ取得率が低いです。町としてもこの法律の趣旨に鑑み、商工会等を通じ企業にも周知啓発を考えています。

がん教育の取り組みについて

問 外部講師を活用してもっと授業の質の向上を図るべきでは。

教育長 千曲病院と協議し対応可能との回答を得ました。できれば保護者も含めて学習できる機会を創設したいと考えています。

問 子宮頸がんワクチン接種の推進は。

健康福祉課長 積極的勧奨が約9年ぶりに再開され、定期接種の対象者と、中止によりワクチン接種を行えなかった方も遡って、本年4月から予診票を送付し周知勧奨しています。

弱者の人権的配慮の考えについて

問 男性トイレにサニタリーBOXの設置予定はあるか。

町長 前立腺がん、膀胱がん患者等に配慮した取り組みとして利用頻度が高い公共施設から設置を検討していきます。

みどりの戦略について

問 環境にやさしい農業の取り組みは。

町長 環境型の経済活動・自然環境の保全・再生等の環境への意識・農業の持つ物質環境機能・生産性との調和など、土作り等を通じて化学肥料、農薬使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を行うことにより自然環境の保全をして行くものであり、国が目指している温室効果ガスの削減に貢献していると考えます。

産業振興課長 有機農業取り組みについて、本年度は20haの取り組み面積となっており、昨年度より6ha増となっています。

道徳教育について

問 他人に対する思いやりや弱者に対するいたわりの教えや導きは。

教育長 担任、教科担任、部活動担当等の複数の教職員で情報交換や情報共有を行い、児童生徒の発するいじめシグナルに敏感に対応できるように努めています。また、SNS等のインターネット環境でいじめがおこらないように、毎年学年に応じたリテラシー教育を行い、保護者への啓発も交えて、未然防止に努めています。昨年は、弁護士による教職員法律研修会を開催し、生徒間でのいじめについて、対応方法を学びました。

佐久穂中学校人権教育
Heartwarming 佐久穂っとDays企画

グループホーム増設を早急に

髙見澤 春野

町長 誘致が実現できるよう前向きに努めていきます。

障がい福祉施設の充実へ

問 障がい児・者の相談支援体制を整える必要がある。そのため相談支援専門員の育成の支援・量的確保、質的向上が必要だが、その考えは。

町長 相談支援専門員の存在は欠くことのできない専門的な職で、必要な障がい者サービスにつなげる大切な役割を担っていただいていると認識しています。育成や質的向上については障害福祉サービス事業所も関係しており、佐久圏域障害者自立支援協議会の取り組みに大いに期待しています。

問 グループホーム増設の必要性を認識しているのであれば、早急に方向性を出し整備する必要があるのでは。

町長 令和3年3月議会以降施設に関係する近年の補助やグループホームの形態等の情報収集をしてきて関係者の皆さんと意見交換をしてきています。知的障がい者等グループホームについては、ぜひとも整備したいと考えています。誘致が実現できるよう前向きに努めていきます。

問 社協への派遣職員は即戦力となる有資格者が良いのでは。

町長 派遣の意図の目的から、事務職派遣が相当であり、長く継続されてきました。町は社協の要請に基づき選考し、社協と協議の上決定しており、給与は全額町負担となっています。

問 個々の特性に合った就労支援である農福連携がどこまで進んでいるのか。

健康福祉課長 令和3年度から地域おこし協力隊員を採用し農福連携やテレワークなど新たな日中活動のサービス、就労について検討するため活動しています。

障がい者へのマッチングや現在の就労状況など様々なことを確認しながら可能性を探ることを第一の目標にしています。

高齢者福祉施設の充実へ

グループホームほほえみ

問 独居等の高齢者が買い物や通院など自分が歩いて行ける距離で自立した生活が送れるよう町なかに住宅を整備していく考えは。

町長 地域包括ケアシステムの基本的な考え方「可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる」を柱としていることから、移住を伴う住宅整備や高齢者用住宅整備の計画はありません。

問 高齢者世帯へ、エアコン設置補助の考えは。

町長 熱中症対策でこれまで以上に予防啓発に努めていきます。エアコンを含む家庭用家電への町単独の補助は考えていません。

問 町営住宅のバリアフリー改修の考えは。

町長 老朽化の調査を合わせてバリアフリー化の可能性も検討したいと考えます。

今後の運動部活動の在り方は

髙見澤　敏幸

教育長　スポーツに親しむ土壌づくりが必要であると考えています。

中学校運動部活動の地域移行について

問　現在の活動状況は。

教育長　今年度、佐久穂中学校女子バレー部は部員が4人です。サッカー部も現在部員は3人になりました。両部ともに今後は小海中学校との合同部活動を行う予定です。男子バスケットボール部は小海中学校から1名を、女子バスケットボールは大日向中学校から2名を受け入れて、合同部活動を行っています。

今後は南佐久郡内4中学校合同で、地域移行及び合同部活動に向けて本格的に検討を進める予定です。

問　地域での受け入れ態勢はどのように整備するのか。

教育長　部活動の地域移行は、南佐久郡全体で地域移行と共に合同部活動を行うという方向性です。郡全体の総合型地域スポーツクラブの構想については、モンベル社などの民間活力の活用を含め、これから検討していきたいと思っています。

問　地域移行の進め方は。

教育長　合同部活を視野に入れ、まず土日から移行していく予定です。

問　指導者資格に対する補助はできないか。

教育長　多くの指導者資格は、個人の財産となるため現在は取得等に補助はしていません。スポーツ庁として、来年度以降の予算で資格取得や研修費用を、補助対象とするということが漏れ聞こえています。予算が決まりましたら、人材確保のためにも積極的に活用していきたいと思います。

今年度地域移行拠点校である南牧中学校の補助金は、合同部活動指導者への謝金、合同部活動に参加する生徒の小海線運賃、教員を指導員として依頼した場合にはその謝金に活用したいと考えています。これらは、来年以降の予算の方向性になるのではと思われます。

問　各種大会への取り組みと今後のスケジュールはどう進めるのか。

教育長　県中学校体育連盟は、来年度から中体連の大会に、学校の合同チームの制約を緩和する方針を出しました。南佐久郡内でその年の競技人数や構成する中学校毎の人数などに応じて自由にチームが組めるようになります。さらに、民間のスポーツ団体についても条件を満たせば参加が認められます。

佐久穂中学校部活動の様子

今後はスポーツ庁から示される予定である「地域移行に関するガイドライン」に沿って、南佐久全体で調整をしていきたいと思います。

今回の部活の地域移行や中体連の大改革の趣旨は、将来にわたってスポーツに親しむ環境づくりが大きなテーマになっています。佐久穂町としても、勝負に拘ることも勿論必要だとは考えますが、スポーツに親しむ土壌づくりが必要であると考えています。

道の駅計画における町の発展と活性化は

須田　芳明

町長　新たなコミュニティーや、関係人口・佐久穂ファンの創出ができればと考えています。

問　道の駅基本計画について。

町長　アウトドア・アクティビティを新たな観光資源ととらえ、その拠点施設を道の駅に整備することを計画しています。

道の駅説明会

問　町が考える地域連携とは。

総合政策課長　直売所やアウトドアショップでの購入はもとより、交流促進施設に集い、アウトドアイベントに参加し、地元住民が、道の駅という新しい施設で、交流を深めて、経済活動の幅を広げていく場、地域住民にとって身近な存在になるようにしていきたいと思っています。

問　町の自然、既存施設をどのように活かすか。

総合政策課長　事業運営者からの提案を期待していますが、もしないようでしたらそのようなものも町から発信して、既存の施設等への案内に導いていきたいと思っています。

問　商工観光としての戦略は。

産業振興課長　地域の魅力発信とエコツーリズムの促進により、経済の活性化につながる事業を検討し、より多い観光客の皆様にお越しいただけるよう、関係者と共に検討を進めていきます。

問　特産品のアピール戦略は。

産業振興課長　いかにアピールをしてくか・収益につなげるかということについては、運営事業者のアイデア提案に期待するところです。

町としましても、イベントへの協力はもちろん、PR方法等も検討していければと考えています。

問　現存する直売所との連携は。

産業振興課長　高野町農産物直売所まちの駅、道の駅の運営主体は町ではなく、直売所の会となるため、競合関係になると考えています。お互いの協力については、町が主体的に進めていくことは難しいと考えています。

問　町民や事業者に対するメリットは。

総合政策課長　地元の方にはぜひ積極的に携わっていただきたいと思っています。事業者のメリットは、モンベルが100万人を超える会員へのPRをしてくれることです。モンベルフレンドショップに登録すればさらなる効果があると思われます。ふるさと納税の寄付先は、観光で行ったことがあるところを選ぶ方が多いので、ふるさと納税を通じても事業者の産品の取り扱いが増えることが期待されます。

さくほ教育について

問　子どもの想像力を高める教育について。柔軟な対応、チャレンジするという意味での方向性は。

教育長　子どもたちのために、今年は水曜日に補充学習の時間だとか、それからイングリッシュキャンプも実施しました。そういう中で子どもたちは創造性を高めていくと思いますので、新しい学校の取り組みに学ぶところは学びながら、機会を提供していきたいと思っています。

地域内でお金を循環させる仕組み作りとは

佐々木　信幸

町長　今後、道の駅の役割が重要となります。

リビングマーケットの今後について

リビングマーケット

問　初年度の333万円、令和4年度の341万円のリビングマーケットに関する予算はどのように使われているか。予算規模は適正か。

総合政策課長　ほぼ全額を民間業者に委託しています。見積書で内容を確認し、適正と判断しています。町自前では企画運営力不足なので、民間活力でマーケットという手法やSNSの活用など、私達の苦手なところをカバーして進めています。

問　令和5年度までの3年間は町営で、令和6年度以降は住民主体の組織運営と聞いているが移行へのプランはあるか。

総合政策課長　まだ2年目で手探り状態です。移行のプランも固まっていないので、事業の必要性も含めてどのような運営形態が望ましいか検討していきます。

地域に根差した事業創出の仕組み作りについて

問　近年町内で新規出店が相次ぎ活気をもたらしているが、町はこの状況をどうとらえているか。

町長　平成29年に商工会と連携して創業支援事業計画を策定しました。これに基づき商工会は創業塾の実施で、町は創業支援事業補助金で創業を後押しし、空き店舗の活用にもつなげています。

問　地域の雇用を創出し若い世代のU・I・Jターンを促す取り組みは。

町長　町ではインターンシップ事業（学生の短期就職体験）や小海町との合同就職相談会、また雇用促進助成金や奨学金返済支援補助金などで雇用機会の創出と町内企業の魅力発信に努めており、雇用にもつながっています。

問　佐久穂町後期総合計画では「地域のみんなが稼いだお金を地域で循環させる地域経済づくりに取り組みます」とあるが、具体的な内容は。

町長　ネットショップや高速道路の開通により、町外での消費が上昇し資金が地域内で還流しない状況が恒常化していると推測します。そんな中で住宅新築助成金では町内業者に、農産物直売所でも町内に資金が還流されています。コロナ禍で行われた商品券事業は地域内循環効果が大きいのですが、財政状況の厳しい町では国等からの交付金に頼らざるを得ない事業であり、今後は関係機関と協議しながら検討していきます。

問　地域内でお金を循環させるには、実際に地域内でお金がどのように流れ、どこから出ていくのかを正確に把握する事が重要である。そのためには「産業連関表」を作ってお金の流れを見える化することが、効果的な施策作りに不可欠だと思うが。

町長　今後、道の駅の建設段階でも、運営してからも色々な指標を使っていきたいと考えます。

財政危機の中、どう福祉と健康を守るのか

竹内　達朗

町長　本来、財政状況に関わらず守るべきと考えています。

地域医療の今後と住民の支え合い

問　新型コロナウイルス対策や防衛予算の増額が想定される中で町民の福祉と健康をいかに守っていくのか。健康診断受診率向上への取り組みは。健康管理合同会議の継続は。健康づくり員制度廃止のもと、健康づくりの意識と体制をどう作るか。

町長　福祉と健康は、住民が安心して暮らしていく基礎であり、国の財政状況で本来縮小すべきではないと考えています。健診を受けることも大切ですが、町民一人ひとりが健康に意識を持つことが大切だと考えています。

健康福祉課長　合併時の全受診者数2740人に対して、令和3年度2524人となっています。しかし、人口減少により率では3％ほど増加しています。健康管理合同会議は長い歴史があり、重要な会議だと認識しています。平成27年に健康づくり員と保健推進員の統合が行われました。これにより保健推進員を中心とした活動になります。

道の駅について

視察先のモンベルショップのある道の駅

問　基本計画はこれまでの方向性から転換し多額の整備費が想定されている。今後の経費負担をどう想定しているか。モンベルとの包括協定から特有のコンセプトが考えられるのではないか。住民の意見や要望を反映させる考えは。

町長　整備費のうち18億円以上が町の負担と考えていますが、国庫補助や過疎対策事業債などを充て、一般財源の支出は抑えるように努めます。開業後の維持管理費は収益から賄うことになります。モンベルとの7つの協定項目については連携して取り組むことになります。住民の意見要望は取り入れられるものを生かし、よりよいものにしていきたいと思います。

建設課長　プロポーザル実施要綱で、建設整備後の経費のうち、ポスター・チラシなどの広報資料、ビジターセンターの運営費などを除いた経費について町からの財政負担はないとしています。

元首相の国葬への対応について

問　安倍元首相の国葬に際し、政府等から具体的な指示がない場合、町として弔意を表すのか。住民及び住民組織に指示を出すのか。学校での対応は。

町長　現在、町として弔意の表明を行うかどうか決めていません。また、政府の発表に沿い、町民、住民組織、事業所等に弔意表明の協力をお願いする考えはありません。

教育長　佐久穂町教育委員会として小中学校に対して特段の配慮を求めることや指示をする予定はありません。

道の駅建設の目的は

出浦　修身

町長　道路利用者の利便性の他に、町に雇用が生まれ、にぎわいが創出されることです。

問　昨年2月に公開した道の駅「八千穂高原IC」基本計画案から、7月公開の基本計画が大きく変化した理由は。

町長　パブリックコメントやサウンディング調査・議会での一般質問など、町民や議員の意見を取り入れながら検討模索し、地域の特色である豊かな自然環境を最大限生かすアウトドア・アクティビティを取り入れ、地域の特色や地勢を活かす道の駅の建設の計画となりました。

問　建設コストが大きく膨らんでいるが、財源的に国・県の交付金や補助金で2／3程度はカバーできるのか。

建設課長　現在想定している建設事業費の21億2400万円の内、18億以上が町の負担の予定です。その中で国の補助金が5億円、過疎債で8億8千万円を見込み、計画では3億5千万円ほどを一般財源で見込んでいます。

問　前の基本計画案に比べ、立ち寄り車数や利用客数の算定が大きいが、無理はないか。また増加に向け付加した対策は。

建設課長　算定は直近の方式に基づくものです。この算定に含んでいないプラス要素としては、モンベル社のアウトドア活動拠点の展開と、かわまちづくり計画の魅力化です。

問　アウトドア・アクティビティの拠点は、重要な機能だと思うが、それだけでは不十分と思われる。農産物直売場を充実し、集客する考えは。

産業振興課長　直売場には、町と南佐久の生産物の知名度の向上と優先販売を指定管理者に要請します。

問　大きなお金を掛けてでも、道の駅を建設する目的と目指すべき成果は。

町長　中部横断道にはサービスエリアがありません。先ずは道路利用者に降りて頂く休憩施設を建設し、雇用の場をつくり、農林漁業者と消費者が繋がり、町のにぎわいを創出することだと考えています。

問　最大の目的は、町のにぎわいを創出することだと思うが、観光振興や産業振興での具体的な成果をどの様に考えるか。

産業振興課長　観光面ではトレッキングなどで山の賑わいを、またデジタルスタンプラリーで飲食店を回ったり、町内を散策したりすることで町のにぎわいを創出するような事業も考えて行きます。

問　目的達成のための課題は。

町長　スタートは恐らく差別化です。日本に一つしかない、せめて10以内、と言うような差別化を懸命に進めます。

問　差別化は大変重要である。株式会社モンベルが来るのは大きな特色だが、それ以外にもある道の駅に行ったら、いつもイベントがあるとか、アウトドアイベントへ行けるとか、リンゴやプルーン、ブルーベリーや花卉、高原野菜など高品質な地域の特産品が豊富にある、といった特色も必要である。まちの駅との両方への供給を満たすためには、増産への助成策も必要では。

産業振興課長　助成金は土壌診断による低コスト生産等を行いながら、規模拡大を進めていきます。

視察先の道の駅店内

その他の議会活動

佐久穂町表彰式

令和4年9月22日

佐久穂町にかかわる功労者に対して表彰が行われました。その中には引退された前佐久穂町議会議員の方々もいらっしゃいました。佐久穂町議会としても、佐久穂町に対し多大な貢献をされた皆様への感謝の意を表したいと思います。

南佐久郡関係7市町村「し尿等共同処理協定」調印式

令和4年9月28日

南佐久環境衛生組合と佐久平環境衛生組合が統合をし、新しく佐久環境衛生組合が設立されます。これにともない、南佐久郡関係7市町村の首長および市町村議会議長による、し尿等共同処理協定に関しての調印式が行われました。これにともない令和5年度より、新しい一部事務組合が動き出すことになります。

佐久穂町議会委員会合同視察研修会

令和4年10月5日・6日

佐久穂町が八千穂高原ICに道の駅を設置するにともない、佐久穂町議会議員だけではなく役場職員も加わって、福井県大野市にある道の駅荒島の郷への視察研修を行いました。道の駅荒島の郷は、中部縦貫自動車道の現在の終着ICであることやモンベルショップが入っていることなど、多くの参考になるところがあります。当日は、荒島の郷の立ち上げ時の支配人である万年正彦氏や大野市産業政策課の五十川課長補佐からご説明をいただき、佐久穂町議会議員や佐久穂町役場職員の質問に丁寧に答えていただきました。

委員会活動から ～委員会審査～

総務文教常任委員会

認定案4件、議案9件が付託され、原案通り認定、可決すべきものと決しました。

令和3年度　佐久穂町一般会計決算

総務課

● 需用費　コピー用紙代……140万円

問 DXを進める中でペーパーレスは進んでいるか。

答 PC周辺機器が便利になったため、紙の使用量は増えています。

DX（デジタル トランスフォーメーション）(Digital Transformation)
「デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること」、「既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの」と言われているわ。

● 需用費　新聞購読料……27万円

問 昨年よりだいぶ増えているが内訳は。

答 4紙を購入しています。農業新聞が有料になりました。

生涯学習課

● 生涯学習館　照明LED化……385万円

問 計画的に取り換えているが残る場所は。

答 2階の部屋と図書館になります。図書館については大きな費用が掛かります。

住民税務課

● 民生費　隣保館運営一般経費……27万円

問 燃料費、ガス水道代が含まれていないが。

答 地元区が負担することになっています。

令和4年度　佐久穂町一般会計補正予算

住民税務課

● 衛生費　塵芥処理事業……303万円増

問 ごみ袋の作成単価の上昇のためとの説明だが、町民に配布・販売する価格は上がる可能性はあるか。

答 できるだけ現状維持をしていきたいと考えています。

総合政策課

● ふるさと納税事業……27万円増

問 内訳は。

答 事業成果書（税金の使われ方）の作成や、返礼品の紹介写真の撮影です。

さとふる　ふるなび　楽天ふるさと納税　モンベルふるさと納税

子ども課

● 保育所費　一般委託費……180万円増

問 保育士派遣事業であるが、栄保育園で思うように確保できなかったが、派遣は期待できるか。

答 希望者がいるとの情報がありましたので予算計上しました。

● 学校施設管理経費　消耗品……405万円増

問 タブレット用ACアダプターの購入との説明だが、すでに生徒・児童に貸与されているのでは。

答 子どもがタブレットと共にアダプターを自宅に持ち帰るたびに着脱にかかる教員の手間が煩雑になっているため、各家庭用に貸与するものです。

その他条例改正案　3件

① **佐久穂町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の改正**
宿泊料　県内12,000円　県外14,000円に改正

② **佐久穂町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の改正**
宿泊料　県内12,000円　県外14,000円に改正
上記2件は、南佐久郡下の町村と均衡をとるための改正です。

③ **佐久穂町消防団員の報酬及び費用弁償条例**
年額報酬　団員 18,000円を　36,500円に
出動手当　1日 4,800円を　災害 1日 8,000円に
など8項目について増額で改正します。

※ 消防庁より消防団員の報酬等を見直すことが通達されたことによる改正と併せて、班長以上階級も佐久地域の年報酬額を考慮し改正するものです。

経済福祉常任委員会

認定案6件、議案7件が付託され、原案通り認定、可決すべきものと決しました。

建設課

● 台風19号豪雨災害復旧事業の繰越4ヶ所の現地視察を行い説明を受けました。
①海瀬用水堰堤頂部補修工事
②豊田地区農地、農業用施設復旧工事
③駒寄地区農地、農業用施設復旧工事
④都沢提外水路復旧工事
各箇所とも綺麗に復旧されており問題はなく、復旧農地における作物も順調に育っていました。

都沢堤外水路復旧工事視察

● 除融雪作業委託料について説明

問 除融雪作業委託料が前年度に比べて、大きく増加しており、何か無駄はなかったのか。

答 令和3年度は降雪量が多い年でした。融雪剤購入につきましても、ぎりぎりまで待って注文しており、無駄が出ないようにしています。

健康福祉課

● 結婚相談委託料についての説明

問 成果が見えにくいが、詳細な説明をお願いしたい。

答 社協に委託している中で、郡内の組織と共同運営しているため、固定的な経費の部分もあります。

● 地域おこし協力隊の仕事についての説明

問 地域おこし協力隊としての仕事の内容は。又資格は必要なのか。

答 福祉関係の地域との連携、障がい者の雇用の拡大の調査・検討などです。資格は特に必要ありません。

千曲病院

● 当初予算はCTの購入を計上していましたが、先送りをしてMRIを購入したいとの説明がありました。

問 課題としては、値段という事になるが、その金額については確定しているか。

答 私どもが持っている情報確認では、CTの予算の範囲内で機器が収まると考えています。

問 MRI導入で操作をする技師が新規に必要になるのではないのか。

答 CTとMRIの違いは、放射線の機器と磁石の機器の違いですので検査技師等でも対応できます。むろん放射線技師もできますが、いずれにしても勉強しないと対応は難しいかと思います。

問 現在病院では、カード決済ができないが、導入の見通しは。

答 昨年より検討を重ねていまして、早期導入に向けて準備中です。

産業振興課

● 千曲バスの負担金が減ったとの説明

問 千曲バスの負担金が、前年度に比べてかなり減額となった理由は。

答 委託契約になっており、運行経費については変わらないのですが、バスの利用者が増えれば収入の部分が増えるため、負担金が減ることとなります。

● 松くい虫対策についての説明

問 松くい虫の被害状況は。

答 令和2年度は約720万円、令和3年度は900万円を掛けていますが、未だに止めるのが難しい状況で、町内の被害は拡大傾向にあります。来年度以降、町単でも対策を実施するかどうか検討中です。

問 現状で、どこまで広がっているのか。

答 西山より千曲川を渡り、白矢の松茸山のすぐ近くまで迫っています。柳沢地区公民館の松も発生して、今年伐採しました。宿岩区では、松林がなくなる勢いです。

問 町内全域に発生してしまうのが目前となっている印象だが、今後の事業で十分な対策を講じてもらいたいが。

答 今後、秋駆除も実施する予定です。

お邪魔します。おでかけ議会です。

議会改革特別委員会に組織された町民交流推進チームが、
議会改革の一つである「町民の皆さんとの交流」を深めるための交流会を実施しています。
今回は、3団体との交流内容をご報告いたします。

皆さんからいただいたご意見の一部を紹介しています。

移住者の皆さんとの交流

古民家宿黒澤邸hanareにて　参加者7名　議員6名

主な意見交換等

別荘の住人が増えている。防災上の問題点として、災害の際、住所番地では、場所が特定できない。よい方法はないか。

ファミリーサポート、近所のケアサポートの仕組みがあったらよいのだが。

ファミリーサポートの活動をシルバー人材センターでできないか。また、その活動人材として女性の皆さんの働き場所として、登録の推進を。町内に住む家が見つからずに移住できない人のサポート体制の強化を。

やさい倶楽部の皆さんとの交流

茂来館にて　参加者12名　議員10名

活動内容：平成14年発足。プルーンジャム、リンゴジャム、カボチャジャム等の加工品の製造販売などを行っています。現在の会員数は21名。豆づくり、みそづくりは今年で19年目だそうです。

主な意見交換等

八千穂駅前農産物加工施設の利用について

食品衛生法改定により、個人利用の制限があり多品目対応ができない。加工処理に支障をきたす。

プルーンジャムの販売だけでは、採算ベースに合わない。

加工施設について

真空包装機について、役場が当初整備していたものの更新が見込めない。

新たな加工施設がないか検討中である。

JA佐久浅間女性会の皆さんとの交流

JA佐久浅間 佐久穂支所　参加者6名　議員8名

活動内容：JA加工施設で自家用の加工品（乾燥野菜、ジャムなど）を製造し、野菜の有効利用や郷土食の伝承活動などを行っています。

主な意見交換等

食べ物に関する教育について

ドキュメンタリー映画「お弁当の日」は、食の大切さや心と体を育てる映画で、次世代の子どもたちや親に見てもらいたい。上映には費用（上映費）がかかるため、教育委員会の支援をお願いできないか。

会員募集について

食農教育活動として親子参加型体験会等の募集をしているが、なかなか応募が集まらない。よい方法はないか。

学校給食の食材納入について

現行の2か月前の納品確認の方法では、多量の納入は難しく限界を感じる。新たな方策はないか？

イベントの実施について

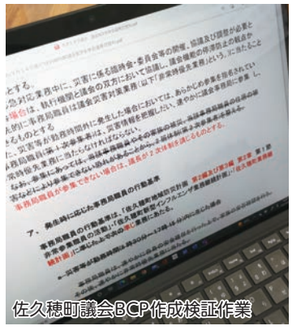
イベントを実施しても参加者が集めにくい。

議会改革特別委員会経過報告

●町民交流推進チームによる「お邪魔します。おでかけ議会です。」は月1回のペースで順調に開催しています。

●議員報酬見直しチームでは、「議員のなり手不足解消の視点からの報酬見直しの必要性」や「議会改革による議員活動量の増加や専門知識が求められている」などにより、議員報酬の適正な額を把握するために「議員の活動時間記録表」を8月から3か月間個々に記録・報告を実施中です。集計がまとまりましたら町民の皆様への報告も必要と考えています。

●議会の災害対応チームでは、佐久穂町議会として災害等の発生時においても組織として迅速・的確な行動ができるよう、必要な組織体制や議会・議員等の役割を定めたBCP（業務継続計画）を策定中です。チームより挙げられた計画案について、議会改革特別委員会開催時に全委員で検証作業をしているところです。



佐久穂町議会BCP作成検証作業

さくほ議会だより　第70号　令和4年10月20日
佐久穂町議会発行
議長　石井　正行
編集　議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697 長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569
電話 0267(86)2556
デザイン・印刷　株式会社コックス

意見交換会のお知らせ

11月27日（日）午後1時開場

生涯学習館 花の郷 茂来館 メリアホール

主な内容

午後1時 …… 佐久穂中学校 吹奏楽部　演奏
午後1時30分 …… 開会

基調講演

講師 …… 元長野県副知事　中島 恵理さん
テーマ …… みんなで創る佐久穂の未来

分科会による意見交換会・ワークショップ

地方政治の未来
町の政治はどうなる？ 行政や議会に言いたいことなど

佐久穂の未来
産業、生活について、これからのまちづくりなど

子どもの未来
佐久穂の子育て、さくほ教育について　ワークショップ

詳しくは佐久穂町ホームページから「佐久穂町議会」をクリック。
身近な政治に興味のある皆さま、子育て世代の皆さま、ご来場をお待ちしています。

おでかけ議会申込について

議会では町民の皆さまとの交流、意見などをお聞きする「おでかけ議会」を開催しています。

5名以上のグループであれば開催可能です。
代表者による申込書の提出が必要です。
実施要領など詳しくは、お知り合いの町議会議員に相談いただくか、
議会ホームページまたは議会事務局までご連絡ください。
皆さんのお申込みをお待ちしています。

問い合わせ　佐久穂町議会事務局　TEL86-2556

◆編集後記◆

日々の暮らしに追われ、目先のことだけやり過ごしているとなかなか将来のことなど考えられません。まして20年先のことなど…。でも必ずやってきます。

佐久穂町では令和27（2045）年に小学校1学年2クラス（70人）を維持するため、令和27年時点で8000人の人口が確保されることを目指しています。しかし、国立社人研の推計では2045年で人口6197人、6歳人口は33人と予測されています。かなり開きがありますね。6歳児なんて半分以下、このままで大丈夫なんでしょうか。

今やるべき事は？　何ができる？　というようなことを意見交換会で皆さんといっしょにワイワイとやりたいと思います。

11月27日、茂来館においでください。お待ちしております。

広報編集調査特別委員
佐々木　信幸

12月定例会のお知らせ　12月8日（木）～12月21日（水）を予定しています。